

第1号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策計画書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 210-0838
 住 所 川崎市川崎区境町5-2
 氏 名 京浜交通株式会社
 代表取締役 岩浦 哲彦 印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第9条第1項(同条第4項において読み替えて準用する場合を含む。)の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	京浜交通株式会社		
主たる事務所又は 事業所の所在地	川崎市 幸区小倉5-25-20		
該当する事業者 の要件	<input type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者(任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	H	運輸業, 郵便業
	中分類	43	道路旅客運送業
主たる事業 の内容	一般乗合旅客自動車運送事業		
事業者の規模	<input type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量		k l
	<input checked="" type="checkbox"/> 自動車の台数		114 台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t -CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	
		所在地	
	電話番号		
	FAX番号		
	メールアドレス		

※受付欄		※特記事項	※事業者番号	

(第2面)

計 画 期 間	2022 年度 ~ 2024 年度
温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 計画書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。
5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策計画

1 温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針

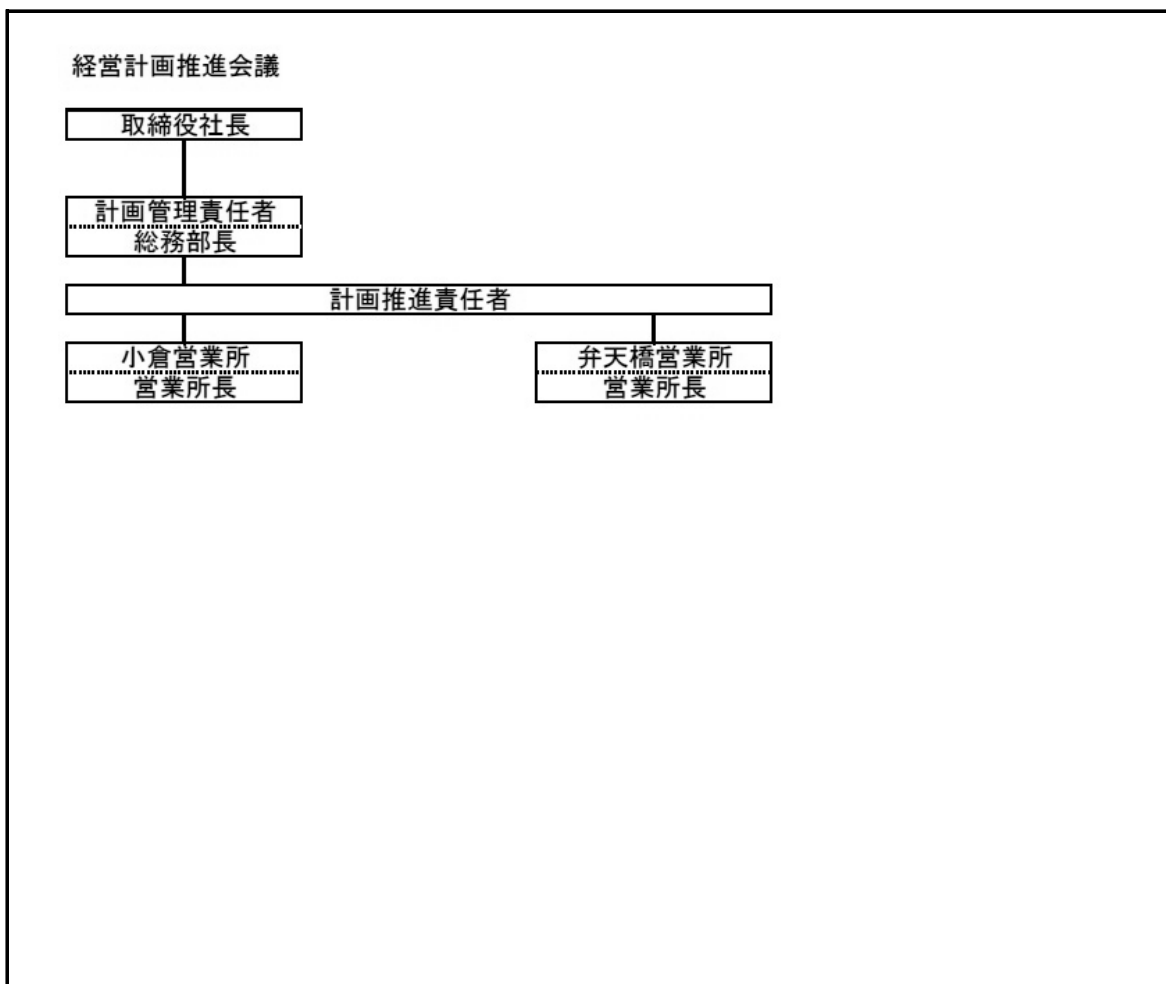
(1) 温室効果ガス排出量削減に向けた方針

- ①地球温暖化について、運行管理・整備管理の組織的な協力体制を構築し対策を推進する
- ②エコドライブによる燃料消費量及び温室効果ガス排出の削減を図る
- ③環境負荷を軽減するため、省資源、省エネルギー活動に努める
- ③環境法令遵守に努める

(2) 削減対策実施状況の適切な進行管理（PDCAサイクル）を行うための方針

- ①温室効果ガスの削減目標に関しては使用燃料の削減効果のあるエコドライブの推進、現行車両から低燃費車両への代替導入などにより燃費の向上・改善を前提条件とし、燃料使用量の削減量を前提としたうえで設定する。
- ②毎週行う全体会議において実績値の報告を行い、同時に必要に応じて協議報告を行う

2 温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制



3 温室効果ガスの排出の量の削減目標等

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量等

ア 基準排出量と目標排出量（（実）は実排出量を、（調）は調整後排出量を示す。以下同じ。）

		1、2、4号該当者等	3号該当者等
基準	年度	2021 年度	
目標	年度	2024 年度	
基準	排出量	(実) t-CO ₂ (調)	(実) 1,251 t-CO ₂ (調) 1,251 t-CO ₂
目標	排出量	(実) t-CO ₂ (調)	(実) 1,213 t-CO ₂ (調) 1,213 t-CO ₂
削減量		(実) t-CO ₂	(実) 37.9 t-CO ₂
内訳	対策実施による削減量	(実) t-CO ₂	(実) 37.90 t-CO ₂
	上記以外の削減量	(実) t-CO ₂	(実) 0 t-CO ₂
削減率		(実) %	(実) 3.0 %

イ 基準排出量原単位等と目標排出量原単位等（任意記載）

		1、2、4号該当者等	3号該当者等
原単位等の活動量			
原単位の単位			
基準年度の値			
目標年度の値			
削減率		%	%

ウ 目標設定に関する説明

温室効果ガスの排出要因である主力燃料のLPガスの使用を削減することを前提とし、その対策としてエコドライブの推進、GPSデジタル無線機、配車アプリ及びカーナビゲーションシステム等の有効活用により、配車効率の向上で無駄な空車走行の削減や目的地までの走行距離の短縮を図ると同時に現行車両からハイブリッド車両など燃費効率の高い車両への代替を行い、全社的にエコドライブの推進を実施するとともに、整備・点検を適正に行うことで温室効果ガスの排出量年間1.0%、3年間3.0%の目標削減率とした。

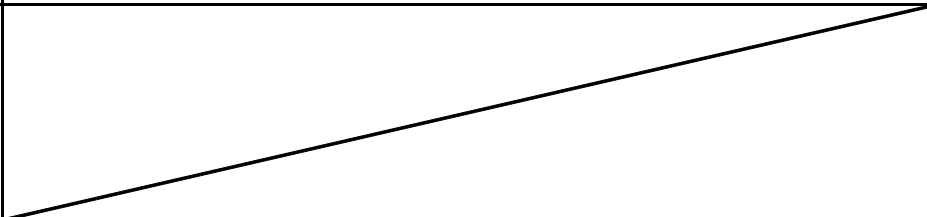
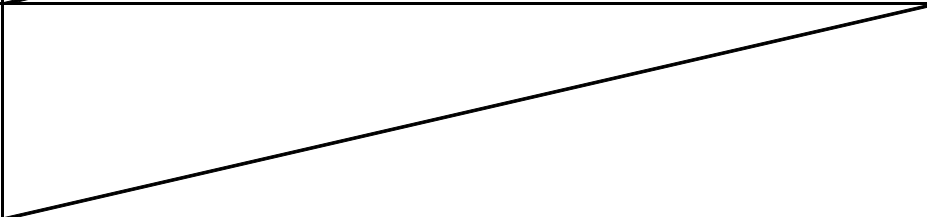
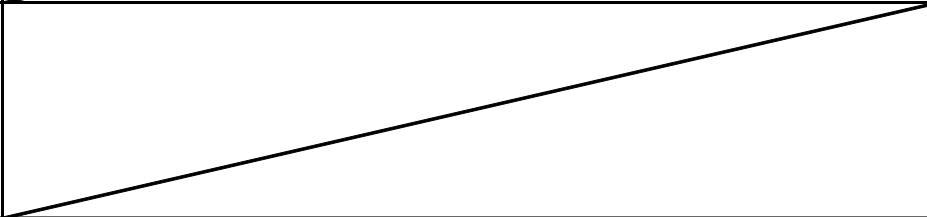
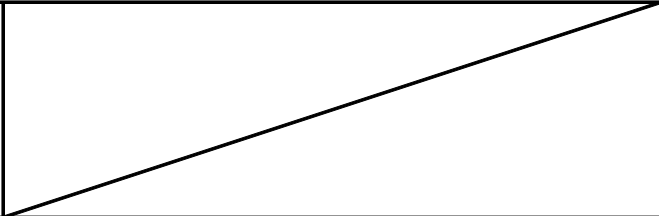
(2) 温室効果ガスの排出の量の削減目標（全社目標）（任意記載）

--

4 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項

(1) 措置の内容

ア 計画期間に実施する措置の内容 (別表第1から6等を参考に記載してください。)

計 画	①エコドライブの取り組み実施 アイドリングストップなど日々の取り組みに加え、デジタルタコグラフの活用での運行管理者による個々の運転調査や技術指導を行う ②低燃費車両の導入 基本代替車両は低燃費車両とする
第1年度	
第2年度	
第3年度	
計画期間における取組の評価 (第3年度の報告時に記載)	

イ 実施済みの主な温室効果ガスの排出の量の削減対策内容

全車両にデジタルタコグラフ、配車アプリの導入。それらを活用し運行管理者が個別指導を行っている。

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 基準年度までに実施した再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況

(検討済みの場合は「○」、未検討の場合は「×」を記載し、検討済みの場合は検討結果を記載してください。)

再生可能エネルギー源等の種類	検討の有無	検討結果
太陽光	×	
風力	×	
バイオマス	×	
未利用エネルギー	×	
その他 ()		
その他 ()		

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の価値の保有状況・計画

種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度

(3) 基準年度までに実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入・検討状況

(導入済みの場合は「○」、導入検討中の場合は「△」、導入予定なしの場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	導入等の状況	設備等の種類	導入等の状況
電気自動車等への充電設備	×	エネルギー管理システム (FEMS、BEMS等)	×
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他 ()	
EV、PHV、FCV	×	その他 ()	

5 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項

計 画	
第1年度	
第2年度	
第3年度	

6 その他、地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項

計 画	
第1年度	
第2年度	
第3年度	

8 基準年度の温室効果ガスの排出の量等の実績（3号該当者等）

(1) 自動車に係る温室効果ガスの排出量等

ア 温室効果ガスの排出量

(実)	1,251	t-CO ₂
(調)	-	

イ 車両の台数（基準年度末日時点）

114	台
-----	---

(2) 車両の種別

ア 車両の種別

種別	台数
普通貨物自動車	台
小型貨物自動車	台
大型バス	台
マイクロバス	台
乗用自動車	114 台
特種自動車	台

イ 燃料の種別

種別		台数	比率	
次世代自動車	電気自動車	台	-	%
	プラグインハイブリッド自動車	台	-	%
	ハイブリッド自動車	台	-	%
	燃料電池自動車	台	-	%
	天然ガス自動車	台	-	%
	その他	台	-	%
低燃費車	ガソリン自動車（上記を除く）	台	-	%
	ディーゼル自動車（上記を除く）	台	-	%
	LPGガス車	台	-	%
	その他（上記を除く）	4 台	3.5	%
上記以外		110 台	96.5	%

※低燃費車とは、「エネルギーの使用の合理化等に関する法律」に基づき定められた燃費基準（トップランナー基準）を早期達成している自動車をいう。